

タジキスタン共和国
医療特別機材供与
(感染症対策・母と子どものための健康対策)
機材計画調査報告書

平成 19 年 1 月
(2007 年)

独立行政法人国際協力機構
人間開発部

人間
JR
07-063

タジキスタン共和国
医療特別機材供与
(感染症対策・母と子どものための健康対策)
機材計画調査報告書

平成 19 年 1 月
(2007 年)

独立行政法人国際協力機構
人間開発部

序 文

独立行政法人国際協力機構（JICA）は、タジキスタン共和国に対する「感染症対策（EPI）」「母と子どものための健康対策」医療特別機材供与事業にかかる機材計画調査を行うことを決定し、2006年12月8日から12月22日まで調査団を派遣しました。両医療特別機材供与事業にかかる第1回目の調査は、2005年2月に実施されており、本調査は第2回目となります。

同調査団はタジキスタン共和国政府関係者および UNICEF 現地事務所関係者と協議を行うとともに、機材供与対象施設などの現地調査を実施し、効果測定・評価および機材調達計画の観点から調査結果を本報告書に取りまとめました。

この報告書が、タジキスタン共和国における「感染症対策（EPI）」「母と子どものための健康対策」医療特別機材供与事業の効果的な実施に寄与することを切に願うものです。

最後に、本調査にご協力をいただいた内外関係者の方々に深い謝意を表するとともに、引き続き一層のご支援をお願いする次第です

平成 19 年 1 月

独立行政法人国際協力機構

人間開発部長 **菊地 文夫**

<現地写真>



写真1：IMCI 研修資料（ロラゾル・メディカルハウスで）。

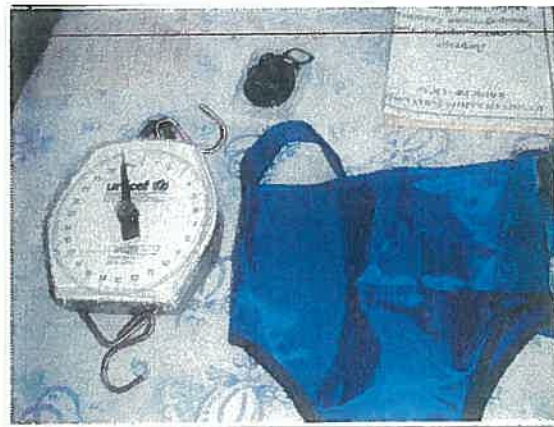


写真2：我が国が供与した子ども用体重計。研修を受講した医師補が勤務するロラゾル・メディカルハウスにはまだ配布されていなかった。



写真3：我が国が供与したARI タイマー。一次レベル保健医療施設の医師がARI 診断のため使用している。



写真4：IECD、IMCI プログラムで使用されているIEC 教材。



写真5：深井戸掘削による「安全な水」の入手。この地域では、安全な水の入手により下痢性疾患の罹患が減少し、5歳未満児の死亡が「ゼロ」となった。



写真6：ORS 治療用の備品。



写真7：ORS 治療室の内部。ORS 溶解用のミネラルウォーターが常備してある。



写真8：必須医薬品が JICA からの支援であることが明記されている、IMCI プログラム用書類（2 行目右に JICA と連載されている）。



写真9：保健医療施設に展示してある、必須医薬品と JICA ロゴマーク。



写真10：郡 IMCI センター長がモニタリングに使用する台帳で、一次レベル保健医療施設ごとに作成されている。



写真11：国家医薬品センターが発行する必須医薬品の証明書。



写真12：一部破損しているゲンタマイシンのバイアル。

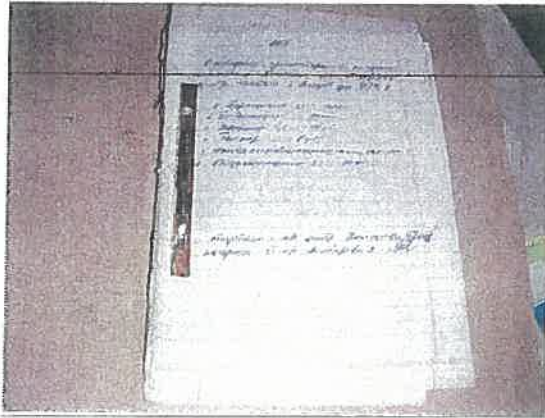


写真 13：必須医薬品の受領書。受け渡し施設間
双方が保管する。



写真 14：郡 IMCI センター倉庫内部。



写真 15：郡 IMCI センター倉庫外観。二重に施錠
がされている。



写真 16：必須医薬品保管棚（一次レベル保健医
療施設）。



写真 17：必須医薬品は施錠できる引出しに保管
されていた（一次レベル保健医療施設）。



写真 18：国家 IMCI センター敷地内に設置されて
いる 40 フィートコンテナ。

<感染症対策 (EPI) >



写真1 : RCIP 付属のワクチン保存倉庫。2004年に世界銀行の支援を受けて、建てられた。すべてのワクチンは一旦ここに保管され、全国に配布される。



写真2 : RCIP 付属ワクチン保存倉庫内の冷蔵室。日本から供与されたものではないが、ワクチンを日本より供与されていることを示すため、ODA マークを添付している。



写真3 : 冷蔵室内。ワクチンは種類別に保管されている。



写真4 : バハダッド郡の保健センター外観。通常は平日の8時から5時まで運営しているが、医師はセンターの横に住居があるため、緊急時にも対応している。



写真5 : 保健センターや保健ポストにあるワクチン保管用コールドボックス。保健センターや保健ポストには冷蔵設備がないため、予防接種日にこれを用いてワクチンを一時的に保管する。



写真6 : バハダッド郡中央病院のワクチン保管用冷蔵庫。停電のため、冷蔵庫は稼働していない。1日に3時間以上停電した場合は、自家発電装置が稼働する。



写真7：RICPの所有するワクチン輸送用トラック。冷蔵設備がない。



写真8：予防接種実施の記録用紙。接種した患者名、接種内容等を記載し、月ごとに各CIP・CHCに接種状況を報告する。



写真9：ワクチン接種状況を記録する手帳。すべての子どもに配布される。

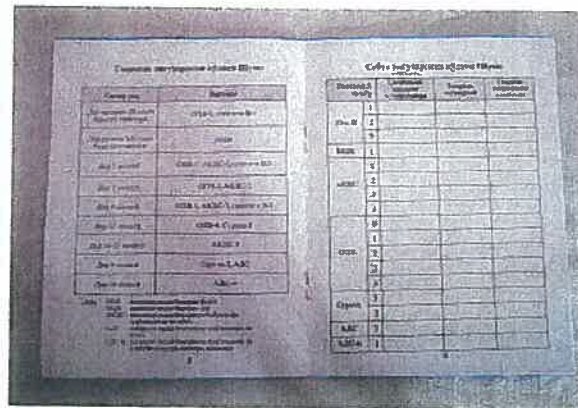


写真10：ワクチン接種記録手帳の内部。左側に必要なワクチンと接種時期が記載され、右側にワクチン接種記録が記載される。



写真11：倉庫内に保管されていた注射針用セーフティボックス。訪問した各医療施設とも、セーフティボックスを正しく使用していた。



写真12：ドゥシャンベ中心部にある医療廃棄物の焼却炉。GAVIから供与されたものではなく、古くから使用されているものである。

略 語 一 覧

略語	英語	日本語
AD	Auto-Disable (Syringe)	使い捨て（注射器）
AIDS	Acquired Immune Deficiency Syndrome	後天性免疫不全症候群
ARI	Acute Respiratory Infections	急性呼吸器感染症
BCG	Bacille de Calmette et Guerin	結核予防ワクチン カルメット・ゲラン菌の略
CDD	Control of Diarrhoeal Diseases	下痢性疾患対策
CEE	Central and Eastern Europe	中央・東欧諸国
CHC	Comprehensive Health Center	包括的保健センター
CIP	Center of Immune Prophylactics	免疫予防センター
CIS	Commonwealth of Independent States	独立国家共同体
DT	Diphtheria・Tetanus	ジフテリア・破傷風
DTP	Diphtheria・Tetanus・Pertussis	ジフテリア・破傷風・百日咳
EPI	Expanded Program on Immunization	予防接種拡大計画
GAVI	Global Alliance for Vaccines and Immunization	世界予防接種イニシアチブ
GBAO	Gorno Badakhshan Autonomous Oblast	ゴルノバダフシャン自治州
HIV	Human Immuno-deficiency Virus	ヒト免疫不全ウイルス
IEC	Information, Education and Communication	情報、教育、コミュニケーション活動
IECD	Integrated Early Childhood Development	統合された幼児早期教育
IMCI	Integrated Management of Childhood Illness	小児疾病統合管理
JICA	Japan International Cooperation Agency	独立行政法人国際協力機構
KfW	Kreditanstalt für Wiederaufbau (英：German Development Bank)	ドイツ復興金融公庫
MDGs	Millennium Development Goals	ミレニアム開発目標
MR	Mumps・Rubella	おたふく風邪・風疹
NDS	National Development Strategy	国家開発戦略
NGO	Non Governmental Organization	非政府組織
NPO	Non Profit Organization	非営利組織
OPV	Oral Polio Vaccine	経口ポリオワクチン
ORS	Oral Rehydration Salts	経口補水塩
PHC	Primary Health Care	プライマリーヘルスケア

PSF	Pharmaciens Sans Frontieres	国境なき薬剤師団
PRSP	Povety Reduction Strategy Paper	貧困削減戦略文書
RCIP	Republic Center of Immune Prophylactics	国家免疫予防センター
RRS	Rayons of Republican Subordination	共和国直轄地域
TOT	Training of Trainers	トレーナーのための研修
UNICEF	United Nations Children's Fund	国連児童基金
USAID	United States Agency for International Development	米国国際開発庁
WHO	World Health Organization	世界保健機関

■通貨換算率

1 USD=JPY 118.52 (2007年1月)

目 次

序 文
写 真
略語一覧

第1編 調査概要

第1章 調査概要	1
1-1 調査目的	1
1-2 調査団構成	1
1-3 調査日程	1
1-4 調査対象案件の概要	3
1-4-1 母と子どものための健康対策	3
1-4-2 感染症対策（EPI）	4
第2章 過去の供与実績	6
2-1 母と子どものための健康対策特別機材	6
2-2 感染症対策特別機材（EPI）	7

第2編 「母と子どものための健康対策」

第1章 対象国の保健医療政策と体制	11
1-1 保健分野国家計画と保健医療状況	11
1-1-1 保健分野国家計画	11
1-1-2 保健医療政策と現状	12
1-2 組織・人員	16
1-2-1 保健省機構図	16
1-2-2 医療従事者の構成	16
1-2-3 医療施設の数	16
1-3 財政・予算	17
第2章 効果測定・評価	19
2-1 対象国の保健医療政策における医療特別機材供与の位置づけ	19
2-2 JICA 協力プログラムにおける医療特別機材供与の位置づけ	19
2-3 国際機関の協力プログラムにおける供与機材の位置づけ	19
2-4 対象国政府機関、国際機関、JICA または日本国大使館の役割	19
2-5 対象国実施体制	21
2-5-1 運営・維持管理	21
2-5-2 モニタリング・評価体制	22
2-5-3 要請手続き	23
2-5-4 通関・輸送・配布状況	23
2-6 要請内容と5ヵ年計画	24
2-7 妥当性・有効性・効率性・自立発展性	27

2-7-1	妥当性	27
2-7-2	有効性	28
2-7-3	効率性	28
2-7-4	自立発展性	28
第3章	機材調達計画	29
3-1	調達方法	29
3-2	仕様・価格・概算事業費	29
第4章	結論と提言	30
4-1	結論	30
4-2	改善を要する点	30
4-3	その他	31

第3編 感染症対策 (EPI)

第1章	対象国の保健医療政策と体制	35
1-1	保健分野国家計画と保健医療状況	35
1-1-1	保健分野国家計画	35
1-1-2	保健医療政策と現状	35
1-2	組織・人員	37
1-2-1	保健省機構図	37
1-2-2	医療従事者の構成	37
1-3	財政・予算	37
第2章	効果測定・評価	39
2-1	対象国の保健医療政策における医療特別機材供与の位置づけ	39
2-2	JICA 協力プログラムにおける医療特別機材供与の位置づけ	39
2-3	UNICEF の協力プログラムにおける供与機材の位置づけ	39
2-4	対象国政府機関、国際機関、JICA または日本国大使館の役割	39
2-5	対象国実施体制	41
2-5-1	運営・維持管理	41
2-5-2	モニタリング・評価体制	42
2-5-3	要請手続き	42
2-5-4	通関・輸送・配布状況	42
2-6	要請内容と5ヵ年計画	43
2-7	妥当性・有効性・効率性・自立発展性	44
2-7-1	妥当性	44
2-7-2	有効性	44
2-7-3	効率性	45
2-7-4	自立発展性	45
第3章	機材調達計画	46
3-1	調達方法	46
3-2	仕様・価格・概算事業費	46

第4章 結論と提言	47
4-1 結論	47
4-2 改善を要する点	47

付属資料

1. 質問書	51
2. 2007年度要請書	63
3. 関係者（面談者）リスト	70
4. 5ヵ年計画表	72
5. 2007年度要請機材リスト（英文）	82
6. 医療特別機材供与事業の概要	83
7. 主要保健指標	84
8. 2004・2005年度機材配布リスト（母と子どものための健康対策）	85

第1編

調査概要

第 1 章 調査概要

1-1 調査目的

- (1) タジキスタン共和国（以下、「タ」国と記す）における本事業について、国内における既存の資料調査、現地調査、帰国後の国内分析により、相手国政府、関連国際機関および JICA の案件実施体制を評価し、案件の妥当性・有効性・効率性等を確認する。
- (2) 「タ」国からの要請について、機材調達・通関・輸送等の体制を調査し、適正な仕様・数量を確認して、事業費の積算を行う等の計画策定確認支援を行う。

1-2 調査団構成

氏名	担当分野	所属
坂元 律子	総括	独立行政法人国際協力機構人間開発部 母子保健チーム主査
小林 恵子	効果測定・評価	財団法人日本国際協力システム業務部
谷垣 佳奈子	機材調達計画	同上

1-3 調査日程

月日	曜日	作業工程	宿泊
12/08	(金)	13:30 成田発 → 16:10 ソウル着 (OZ101) 17:20 ソウル発 → 21:00 サマルカンド着 (OZ573)	サマルカンド
12/09	(土)	12:00 サマルカンド発 → 12:30 タシケント着 (OZ573) タジキスタンビザ受領	タシケント
12/10	(日)	13:00 タシケント → ホジェンド (陸路移動) 22:15 ホジェンド発 → 23:00 ドウシャンベ着	ドウシャンベ
12/11	(月)	10:00 国連児童基金 (UNICEF) 表敬 15:15 JICA タジキスタン駐在員事務所表敬	ドウシャンベ
12/12	(火)	調査日程調整、資料整理	ドウシャンベ
12/13	(水)	(谷垣・小林) 10:00 UNICEF との協議 午後 資料整理	ドウシャンベ
		(坂元) 20:00 成田発 (HY528) →	機内泊
12/14	(木)	(谷垣・小林) 10:00 国家免疫予防センター (RCIP) との協議、予防接種拡大計画 (EPI) 中央倉庫の視察 14:00 国家小児疾病統合管理 (IMCI) センターとの協議、IMCI 中央倉庫の視察	ドウシャンベ

		(坂元) 03:55 サマルカンド着、タジキスタンビザ受領 サマルカンド → タシケント (HY528)	
12/15	(金)	(谷垣・小林) 終日 資料整理	ドゥシャンベ
		(坂元) 午前 タシケント発 → ホジェンド着 (陸路移動) 午後 ホジェンド発 → ドゥシャンベ着 17:00 JICA タジキスタン駐在員事務所・団内協議	ドゥシャンベ
12/16	(土)	(谷垣・小林) 09:00 母子保健課表敬および協議 午後 資料整理	ドゥシャンベ
		(坂元) 午後 ドゥシャンベ → ハトロン州移動	シャルトゥーズ
12/17	(日)	(谷垣・小林) 07:00 ドゥシャンベ → ハトロン州移動 10:30 ロラゾルメディカルハウス視察、帰国研修員と面談 午後 ハトロン州 → ドゥシャンベ移動	ドゥシャンベ
		(坂元) 09:00 シャルトゥーズ郡中央病院視察 10:30 ロラゾルメディカルハウス視察、帰国研修員3名と面談	シャルトゥーズ
12/18	(月)	(谷垣・小林) 終日 EPI/IMCI 関連施設視察 〈バハダット郡〉 郡中央病院、郡 IMCI センター／医薬品倉庫、保健所 シャルジット村落病院、タンガイ診療所 〈バルゾップ郡〉 家族保健所、医薬品倉庫、メディカルハウス	ドゥシャンベ
		(坂元) コルホザバート郡中央病院視察	シャルトゥーズ
12/19	(火)	(谷垣・小林) 11:00 国家 IMCI センターとの協議 14:00 RCIP との協議 (坂本・谷垣・小林) 16:00 UNICEF との協議	ドゥシャンベ
		(坂元) 〈アジョミ郡〉 郡中央病院 (母子保健棟)、メフナド村落病院視察	
12/20	(水)	10:00 JICA タジキスタン駐在員事務所への報告 14:30 母子保健課への報告 16:00 在タジキスタン日本大使館表敬／報告 17:00 ドイツ復興金融公庫 (KfW) 情報収集 (坂元のみ)	ドゥシャンベ

12/21	(木)	11:30 ドウシャンベ発 → ホジェンド着 ホジェンド → タシケント (陸路移動) 17:00 JICA ウズベキスタン駐在員事務所への報告 22:30 タシケント発 (HY527)	機内泊
12/22	(金)	10:10 成田着	

1-4 調査対象案件の概要

1-4-1 母と子どものための健康対策

(1) 年次

2007年度 (5カ年計画の4カ年目)

(2) 要請書

2006年9月提出

(3) 供与計画提出状況

2005年11月提出

2004~2008年度5カ年計画 (機材リスト)

(4) 供与対象地域

「タ」国全土の保健医療施設

(5) 要請機材

No.	資機材名	要請数量
1	コトリモクサゾール (箱)	6,758
2	ベンジルペニシリン (箱)	942
3	ゲンタマイシン (箱)	12,270
4	クロラムフェニコール (箱)	11,980
5	パラセタモール (箱)	1,362
6	フェノキシメチルペニシリン (箱)	149
7	メベンダゾール (箱)	11,160
8	注射用水 (箱)	1,500
9	サルブタモール吸入剤 (本)	1,400
10	経口補水塩 (箱)	800
11	注射器 (箱)	600
12	子ども用ばね式吊秤 (個)	50
13	子ども用ばね式吊秤用パンツ (包)	50
14	ARIタイマー (個)	250

(6) 過去の供与実績の有無

・2004年度 18,780千円 [小児疾病統合管理 (Integrated Management of Childhood Illness :

IMCI) プログラム用必須医薬品と資機材 14 品目]

- ・ 2005 年度 19,362 千円 (IMCI プログラム用必須医薬品と資機材 14 品目)
- ・ 2006 年度 13,793 千円 (IMCI プログラム用必須医薬品と資機材 14 品目)

(7) 無償資金協力による IMCI プログラムの供与実績
なし

(8) 調査項目

- 1) IMCI プログラムは、①保健従事者トレーニング、②保健システムの改善 (医薬品調達、保健機構改善等)、③共同体を拠点にした保健教育、を主要な構成要素としている。我が国の協力は②に該当する「医薬品の供与」であるが、裨益効果を高めるためには先述の①と③の2つの活動が必須である。JICA の重点地域であるハトロン州内の、IMCI プログラムにおける医薬品配布体制、管理状況並びに実施体制と、国際機関、二国間ドナー、非政府組織 (Non Governmental Organization : NGO) による①・③の活動の規模と内容を調査し、今後の連携の可能性を探る。
- 2) 2008 年度から国別研修 (「母と子のすこやか支援プロジェクト」) 成果を中心とする母子保健のプログラム化を検討しているが、本事業は2008年度で終了する。自立発展性の観点から、IMCI プログラムに必要な必須医薬品に関し、2009 年以降他ドナーによる供与、または「タ」国自身による調達の可能性があるのかどうか調査する。
- 3) 2005 年の国別研修において、研修者は「タ」国母子保健活動体制の形成に向けたアクションプランを作成している。ハトロン州から参加した研修生による計画が、州内の IMCI プログラムにどのように活用されているのか調査を行う。
- 4) 2006 年度に「タ」国から提出された回答書に、必須医薬品の要請数量算定法 (疾病発生数から算定) が示されていたが、要請数量と見合わない部分があること、2006 年度分供与は要請より少ない数量になることから、現地調査において過不足がないかどうか確認を行う。
- 5) 作業基準案をもとに国連児童基金 (United Nations Children's Fund : UNICEF)、保健省との役割分担を明確にし、現状の実態を把握する。

1-4-2 感染症対策 (EPI)

(1) 年次

2007 年度 (5 ヶ年計画の3 ヶ年目)

(2) 要請書

2006 年 9 月提出

(3) 供与計画提出状況

2004 年 11 月提出 (5 ヶ年計画 2005~2009)

(4) 供与対象地域

「タ」国全土の予防接種を実施している保健医療施設

(5) 要請機材

No.	資機材名	要請数量 (バイアル)
1	BCG (20 ドーズ/バイアル)	22,491
2	麻疹 (10 ドーズ/バイアル)	67,473
3	OPV (10 ドーズ/バイアル)	149,565
4	DTP (10 ドーズ/バイアル)	119,652

注：BCG (Bacille de Calmette et Guerin：結核予防ワクチン、カルメット・グラン菌の略)
OPV (Oral Polio Vaccine：経口ポリオワクチン)
DTP (Diphtheria・Tetanus・Pertussis：ジフテリア・破傷風・百日咳)

(6) 過去の供与実績の有無

- ・2005年度 34,939 千円 (BCG、麻疹、OPV、DTP ワクチン4種)
- ・2006年度 27,586 千円 (BCG、麻疹、OPV、DTP ワクチン4種)

(7) 無償資金協力による EPI の供与実績

- ・2001年度 1.85 億円 (ワクチン、冷蔵装置、冷蔵装置部品、予防接種用資機材 等)
- ・2002年度 1.85 億円 (ワクチン、冷蔵装置、冷蔵装置部品、予防接種用資機材 等)
- ・2003年度 1.57 億円 (ワクチン、冷蔵装置、冷蔵装置部品、予防接種用資機材 等)

(8) 調査項目

- 1) 「タ」国ではワクチン6種 [BCG、DTP、麻疹、OPV、B型肝炎、ジフテリア・破傷風 (Diphtheria・Tetanus：DT)] を義務付けているが、そのうち4種 [BCG、DTP、麻疹、OPV] は日本側の供与となる。残りの2種のうち、B型肝炎は世界予防接種イニシアチブ (Global Alliance for Vaccines and Immunization：GAVI)、DTは政府が購入] 並びにコールドチェーン機材、注射器等の予防接種にかかる消耗品についての供与先、並びに「タ」国のEPIを支援しているドナーの活動状況を確認する。
- 2) ワクチンの輸送体制、予防接種活動の実施体制、コールドチェーンの在庫状況、担当する医療従事者とそのレベル等、予防接種の活動状況を確認する。また、地方では電気の供給状態が不安定である等が予測されるため、電圧安定装置の設置など、機材の維持管理状況や温度管理等の実施状況、停電時の対策などを確認する。また、医療廃棄物の廃棄状況についても確認する。
- 3) 配布したワクチンの使用状況のモニタリングについて、現在は特に行われていないため、モニタリング法も含めて再度保健省の担当者に確認し、実施を促す。
- 4) 作業基準案をもとに UNICEF、保健省との役割分担を明確にし、現状の実態を把握する。

第2章 過去の供与実績

2-1 母と子どものための健康対策特別機材

実施年度	案件名	予算額 (千円)	主な供与機材	調達方法
2004	母と子どものための健康対策特別機材	18,780	1. コトリモクサゾール (100錠/箱) 7,370箱 2. ベンジルペニシリン (50バイアル/箱) 976箱 3. ゲンタマイシン (50バイアル/箱) 13,470箱 4. クロラムフェニコール (5アンプル/箱) 13,180箱 5. パラセタモール (1,000錠/箱) 1,416箱 6. フェノキシメチルペニシリン (1,000錠/箱) 159箱 7. メベンダゾール (100錠/箱) 11,000箱 8. 注射用水 (50アンプル/箱) 1,500箱 9. サルブタモール吸入剤 (200ドーズ/本) 1,250本 10. 経口補水塩 (1,000袋/箱) 680箱 11. 注射器 (100本/箱) 500箱 12. 子ども用ばね式吊秤50個 13. 子ども用ばね式吊秤用パンツ50包 14. ARIタイマー250個	UNICEF
2005	母と子どものための健康対策特別機材	19,362	1. コトリモクサゾール (100錠/箱) 7,383箱 2. ベンジルペニシリン (50バイアル/箱) 974箱 3. ゲンタマイシン (50バイアル/箱) 13,488箱 4. クロラムフェニコール (5アンプル/箱) 13,192箱 5. パラセタモール (1,000錠/箱) 1,393箱 6. フェノキシメチルペニシリン (1,000錠/箱) 156箱 7. メベンダゾール (100錠/箱) 11,120箱 8. 注射用水 (50アンプル/箱) 1,500箱 9. サルブタモール吸入剤 (200ドーズ/本) 1,250本 10. 経口補水塩 (1,000袋/箱) 680箱 11. 注射器 (100本/箱) 800箱 12. 子ども用ばね式吊秤50個 13. 子ども用ばね式吊秤用パンツ50包 14. ARIタイマー250個	UNICEF
2006	母と子どものための健康対策特別機材	13,793	1. コトリモクサゾール (100錠/箱) 4,800箱 2. ベンジルペニシリン (50バイアル/箱) 700箱 3. ゲンタマイシン (50バイアル/箱) 8,500箱 4. クロラムフェニコール (5アンプル/箱) 8,500箱 5. パラセタモール (1,000錠/箱) 1,000箱 6. フェノキシメチルペニシリン (1,000錠/箱) 150箱 7. メベンダゾール (100錠/箱) 7,100箱 8. 注射用水 (50アンプル/箱) 1,000箱 9. サルブタモール吸入剤 (200ドーズ/本) 850本 10. 経口補水塩 (1,000袋/箱) 500箱 11. 注射器 (100本/箱) 600箱 12. 子ども用ばね式吊秤50個 13. 子ども用ばね式吊秤用パンツ50包 14. ARIタイマー200個	UNICEF

出典：JICAの情報・資料を基に調査団が作成

2-2 感染症対策特別機材 (EPI)

実施年度	案件名	予算額 (千円)	主な供与機材	調達方法
2005	EPI 医療特別機材	34,939 千円	1. BCG ワクチン (20 ドーズ/バイアル) : 15,650 バイアル 2. 麻疹ワクチン (10 ドーズ/バイアル) : 43,750 バイアル 3. 経口ポリオワクチン (10 ドーズ/バイアル) : 31,700 バイアル 4. DTP ワクチン (10 ドーズ/バイアル) : 70,600 バイアル	UNICEF
2006	EPI 医療特別機材	28,300 千円	1. BCG ワクチン (20 ドーズ/バイアル) : 7,850 バイアル 2. 麻疹ワクチン (10 ドーズ/バイアル) : 25,650 バイアル 3. 経口ポリオワクチン (20 ドーズ/バイアル) : 14,650 バイアル 4. DTP ワクチン (10 ドーズ/バイアル) : 31,100 バイアル	UNICEF

出典：JICA の情報・資料を基に調査団が作成